

「さわやかハートちば」 県民運動推進モデル団体

「さわやかハートちば」は、国の内外から千葉県を訪れる人びとを県民一人ひとりが心温かく迎え、思いやりの気持で接するとともに、県民もお互いに日常生活や仕事の場においてエチケット・マナーに心がけ、さわやかなふれあいの輪を広げ「心豊かなふるさと千葉」を創り出していこうとする県民運動で、この推進モデル団体として指定されました。

どうか、モデル団体としての事業にとらわれず、町民だれもが日常生活において、さわやかマナーを心がけてください。



健康に育つようにと「虫封じ」

開演前には雨も止み保存会のメンバーが4幕を熱演集まった観衆から大きな拍手を受けました。

毎年汗を拭きながらの炎天下での鬼来迎観賞が、今年は天候不順のため、涼しい中で見る事ができました。当日は朝小雨が降っており心配されましたが、上演にはたくさんの方が足を運びました。

涼しく、鬼来迎を観賞

ハローつうしん

月下美人にウツトリ

一夜限りの花月下美人が、西高野の鈴木誠さん宅で8月1日の夜に花【写真】を咲かせました。芳香を放ちながら10時頃、白い大輪の花を開花、見ている人をウツトリさせました。20年位前に植付けしたもので、今年は40個位の蕾をつけまし



た。
通信員 土屋 清(西高野)

生きがい対策で健康づくり



南条地区高齢者スポーツ広場(傍平戸)で南条地区生きがい対策ゴルフ大会が7月23日に約100人が参加して行われました。初心者の方もベテランの方も、スポーツを楽しむことができました。【写真】通信員 村越重平(小川台)

お年寄りの意気盛ん

学習にスポーツにお年寄りのみなさん意気盛んです。7月15日の公民館主催寿大学に70人が参加して薬についての勉強【写真】と歌の唄い方に挑戦、翌日はスポーツ公園で老連主催の町長杯争奪ゲートボール大会に92人が参加し、暑さ

に負けず腕を競いました。優勝は宝米Bチーム(主将・布施新郎さん)でした。
通信員 山辺光男(木戸)



猫に愛情を注ぐ夫婦



棟梁の佐藤多以知さん夫婦(五ノ神)は、無造作に置き去りにされた生まれた

ての猫を目にするとうちに持ち帰り、親の乳がなくなり泣いている子猫に牛乳をやり、育てた猫は18匹余りです。今は家族の一員、冬には作業場の片隅に電気コタツを据えつける心づかい。夕方に出迎える子猫を抱き上げる姿にも愛情の一齣が伺われます。
通信員 木原正子(原方)

ドキドキハラハラの体験

雅サークル(長塚)のメンバーが7月17日に、九十九里町でガラス工芸の体験をし、花瓶・果物入れ・灰皿等思い思いの品を目指し無我夢中で取り組みました。ドキドキ、ハラハラしながらの体験、一人ひとりの作品が出来るたびに拍手、

経験を持って初めてのグループ活動でした。
通信員 実川恵子(長塚)



18年清掃活動



五ノ神の持明院の檀家の方々は、昭和50年以来毎年8月7日に墓地の清掃活動をしています。

作業終了後は懇親会を催し、先祖の霊を弔い語り合いました。参加者は、「今後とも長く続けていきたい。」と話していました。
通信員 大木秀子(五ノ神)